

調査日： 2026年7月28日

調査地点		区分	虫								害			
			払い落とし10株								見取り25株			
			ヒメビロウカ		セジロウカ		ビロウカ		ツマクロコバイ		ニカメイガ	イネミズソウムシ	イネツトムシ	コブノメイガ
成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	被害株数	虫数	つと数	つと数			
丹波市	柏原町芋田	夢たんば	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	柏原町下小倉	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	山南町梶	夢たんば	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	山南町奥野々	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	氷上町南油良	夢たんば	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	
	氷上町小野	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	
	青垣町沢野	夢たんば	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	
	青垣町東芦田	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市島町上竹田	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
	市島町乙河内	夢たんば	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	
	春日町多利	一般コシヒカリ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
	春日町稲塚	夢たんば	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
		最高	0	0	0	0	0	3	5	2	0	0	0	
	最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全体平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0	

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 柏原町拳田

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	19		19
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	3		3
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	1		1
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

紋枯病

B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病

A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 柏原町下小倉

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している
B: 株の2/3以上の茎が発病している
C: 株の1/3～2/3の茎が発病している
D: 株の1/3以下の茎が発病している
E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	6		6
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	0		0
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 山南町梶

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

D欄には5株の合計穂数を記入

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	6		6
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	0		0
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

紋枯病

B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病

A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 山南町奥野々

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	1		1
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	2		2
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	1	0		1
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 氷上町南油良

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	23		23
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	2	5		7
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 氷上町小野

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリコミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリコミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	1	0		1
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	1	8		9
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	2	1		3
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

紋枯病

B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病

A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 青垣町沢野

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	49		49
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	2	2		4
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 青垣町東芦田

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	23		23
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	0		0
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

紋枯病

B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病

A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 市島町上竹田

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している
B: 株の2/3以上の茎が発病している
C: 株の1/3～2/3の茎が発病している
D: 株の1/3以下の茎が発病している
E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	21		21
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	2		2
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	2	0		2
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 市島町乙河内

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	2	23	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	10		10
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	2	0		2
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		2		2
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 春日町多利

作型： 一般コシヒカリ ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリミ症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリミ症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

紋枯病 B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病 A: 株のほとんどの茎が発病している
B: 株の2/3以上の茎が発病している
C: 株の1/3～2/3の茎が発病している
D: 株の1/3以下の茎が発病している
E: 発病が認められない

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	13		13
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	4		4
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	3	0		3
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

水稲病害虫発生予察調査報告野帳（標準様式）

調査年月日： 2026年7月28日

調査場所： 春日町稲塚

作型： 夢たんば ← ※早期・普通期又は品種名を記載

調査基準(病害)

葉いもち病 A: 下葉は枯死し完全なスリム症状(病斑面積率50%以上)
B: かなり病斑がみられ軽いスリム症状を呈する(病斑面積10%程度)

C: かなり見られる(病斑面積率2%程度)
D: 病斑がわずかに見られる(病斑面積率0.5%程度)

E: 病斑なし

穂いもち A: 穂首部が罹病し白穂になったもの又はこのためかなり不稔を起している

病害	A	B	C	D	E	(記入方法)
葉いもち(25株)	0	0	0	0	25	右記の調査基準に基づき該当する株数を記入
穂いもち(5株) ※5株の中の穂数を記入	0	0		0		
紋枯病(25株)	0	0	0	0	25	
縞葉枯病(25株)	0	0	0	0	25	
特記事項	上記以外で被害のある病害について発生程度等を記載					

D欄には5株の合計穂数を記入

虫害

すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	0	8		8
すくいとり20回振	幼虫	成虫	種類名	合計
斑点米カメムシ類	0	0		0
払い落とし10株	幼虫	成虫		合計
ヒメビウンカ	0	0		0
セジロウンカ	0	0		0
トビイロウンカ	0	0		0
ツマグロヨコバイ	3	0		3
見取り(25株)	虫数/つと数	被害株数		発生株率
ニカメイガ(被害株数)		0		0
イネミスゾウムシ(虫数)	0			0
イネツトムシ(つと数)	0			0
コブノメイガ(つと数)	0			0
特記事項	上記以外で被害のある虫害について発生程度等を記載			

紋枯病

B: 穂首部以外で一次枝梗以上が侵され枯死

A: 半数以上の茎が発病しほとんどが止葉から穂首まで侵され止葉が枯死の状態

B: 株の半数以上の茎が発病、病斑が止葉葉鞘まで達しているが止葉は生色ある
C: 株の半数以上の茎が発病し大部分の病斑が第二葉鞘まで達している

D: 病斑が第3葉鞘まで達している

E: 全く発病を認めない又は第4葉鞘以下の発病

縞葉枯病

A: 株のほとんどの茎が発病している

B: 株の2/3以上の茎が発病している

C: 株の1/3～2/3の茎が発病している

D: 株の1/3以下の茎が発病している

E: 発病が認められない